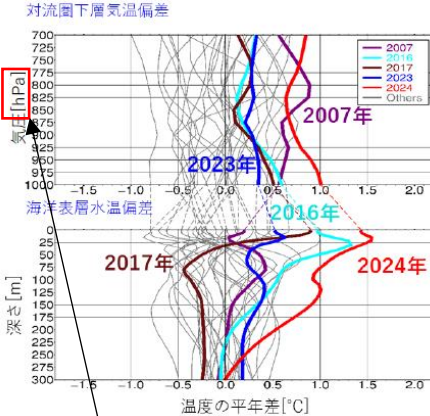
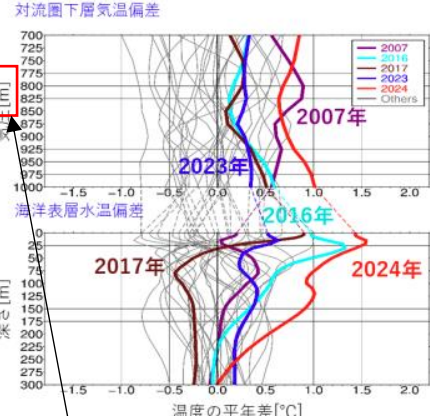


正誤表

報道発表「令和6年7月以降の顕著な高温と7月下旬の北日本の大雨の特徴と要因について」（令和6年9月2日）の「資料全文」のうち資料「令和6年7月以降の顕著な高温と7月下旬の北日本の大雨の特徴と要因について」に以下の誤記がありましたので修正します。

該当箇所	正	誤
別紙 p. 1 4行目	1-2 顕著な高温をもたらした大規模な大気の流れの 特徴	1-2 顕著な高温をもたらした大規模な大気の流れ
別紙 p. 4 脚注2	日本の平均気温 偏差 の算出は、観測データの均質性が長期間確保でき、かつ都市化等による環境の変化が比較的小さい地点から、地域的な偏りなく分布するように選出した15地点（網走、根室、寿都、山形、 石巻 、伏木、飯田、銚子、境、浜田、彦根、宮崎、多度津、名瀬及び石垣島）の観測に基づく。	日本の平均気温の 平年差 の算出 にあたっては 、観測データの均質性が長期間確保でき、かつ都市化等による環境の変化が比較的小さい地点から、地域的な偏りなく分布するように選出した15地点（網走、根室、寿都、山形、伏木、飯田、銚子、境、浜田、彦根、宮崎、多度津、名瀬及び石垣島）の観測に基づく。
別紙 p. 10 図1-9	 <p style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px;">グラフ縦軸の単位を [m] から [hPa] に修正</p>	
別紙 p. 12 7～8行目	なお、世界の平均気温は、昨年5月から本年6月まで 14 か月間連続でその月の高温記録を更新していた。	なお、世界の平均気温は、昨年5月から本年6月まで 13 か月間連続でその月の高温記録を更新していた。

<p>別紙p. 16 図 2-4 説 明文</p>	<p>2024年7月25日06時の気象庁メ ソ客観解析の高度約500mの水蒸 気 流入量（カラー）と水平風 （黒矢印）、海面気圧（黒実 線）</p>	<p>2024年7月25日06時の気象庁メ ソ客観解析の高度約500mの水蒸 気 流入量（カラー）と水平風 （黒矢印）、海面高度気圧（黒 実線）</p>
<p>別紙p. 16 図 2-5 説 明文</p>	<p>2024年7月24日18時・25日06 時・18時の気象庁メソ客観解析 の500hPa面（高度約5800m）の 気温（カラー）、200hPa 面（高 度約12000m）の高度（緑線）と 水平風（黒矢印） 水平スケールの大きな寒気を青 破線の円、後面トラフをピンク 実線でそれぞれ示す。</p>	<p>2024年7月24日18時・25日06 時・18時の気象庁メソ客観解析 の500hPa面（高度約5800m）の 気温（カラー）、200hPa 面（高 度約12000m）の高度（緑線）と 水平風（黒矢印） 水平スケールの大きな寒気を青 波線の円、後面トラフをピンク 実線でそれぞれ示す。</p>